

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2008-240663

(P2008-240663A)

(43) 公開日 平成20年10月9日(2008.10.9)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
F 04 B 43/04 (2006.01)	F 04 B 43/04 A	3 H 0 7 7
F 04 B 43/02 (2006.01)	F 04 B 43/02 B	

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号	特願2007-83135 (P2007-83135)	(71) 出願人	591060980 岡山県 岡山県岡山市内山下2丁目4番6号
(22) 出願日	平成19年3月27日(2007.3.27)	(71) 出願人	806000011 財団法人岡山県産業振興財団 岡山県岡山市芳賀5301
		(74) 代理人	100080160 弁理士 松尾 憲一郎
		(72) 発明者	飯田 隆彦 岡山県岡山市理大町1-1 学校法人加計学園 岡山理科大学工学部電子工学科内
		(72) 発明者	クルモフ・バレリー 岡山県岡山市理大町1-1 学校法人加計学園 岡山理科大学工学部電子工学科内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ポンプ

(57) 【要約】

【課題】 ダイアフラムを適正に動作させて所望の出力状態が得られるポンプを提供する。

【解決手段】 流体を一時的に貯留する貯留室を備えたハウジングと、貯留室と一方向弁を介して連通連結して貯留室に流体を送給する送給管と、貯留室と一方向弁を介して連通連結して貯留室から押し出された流体を下流側に送出する送出管と、貯留室に面して配置して進退駆動させることにより送給管から流体を貯留室に吸引した後送出管に押し出す振動板と、この振動板を進退駆動させる駆動部とを備えたポンプにおいて、振動板には、一方の側面をN極、他方の側面をS極とした平板状の磁石板を装着し、駆動部は、磁石板の一方の側面に対向させてハウジングに配設した複数のコイルと、磁石板の他方の側面に対向させてハウジングに配設した複数のコイルにそれぞれ通電して、磁石板を進退駆動させることにより振動板を進退駆動させる。

【選択図】 図1

